

03 株式会社マルタシェルサービス

所在地 三重県鈴鹿市一ノ宮町1156-1
事業内容 鋳造業
従業員数 44名

HPは
こちら



テーマ デジタル化による業務効率向上と意識改革

DXチャレンジの きっかけ

DXに取り組みたいと思っていたものの、なかなか具体的に進めるタイミングがなく、日々の業務に追われていました。ただ、業務の効率化が必要なのはずっと感じていたので、今回の支援事業の話聞いたときに、三重県の方からも情報をいただいていたので、社長とも相談し、ちょうど良い機会だと考えて参加を決めました。

具体的な課題

- 1 外国人労働者が多く、紙の業務が言語の壁となっている
- 2 手作業による書類ミスや業務負担が増大
- 3 業務デジタル化の必要性は感じていたが、進め方が分からなかった

現場では外国人労働者が多く、手書きでの作業はどうしても負担になっていました。例えば、書類の記入ミスが多かったり、読み間違いが発生したりすることもありました。

紙の書類が当たり前になっていて、FAXの送信も毎日の業務として定着していました。デジタルツールを導入しようという話は何度か出ましたが、どのツールを選べばいいのかも分からず、結果として何も進まないままになっていました。

伴走支援取組内容

PC-FAXの導入による業務のペーパーレス化

PC-FAX
導入

紙の使用量を削減

送信にかかる時間を短縮

試験的にGoogleフォームを活用した業務のデジタル化

Google
フォーム
活用

業務のデジタル化

・日々の報告
・業務記録

・手書きによる
記入ミスの削減
・リアルタイムでの
情報共有が可能に

今後の
展望

kintoneを活用し 本格的な業務のデジタル化を進める

kintone
試験導入済み

本格導入でさらなる効率化を期待
データ管理を一元化し、業務の流れをスムーズに。

得られる効果(未来予測)

- ✓ 社員間のコミュニケーション円滑化
- ✓ ペーパーレス化による作業負担の軽減

DX推進度の変化



企業担当者の声

はじめはDXに対する抵抗感がありましたが、若手社員を中心に意見を出し合う場を設け、少しずつ理解を深めることができました。今後は作業者の可視化から、現場で起きていることを瞬時に把握し、即座に対応していける環境を整えたいと考えております。会社の未来展望として、抱えている仕事の負担を下げることで働きやすい環境を作り、新たな事にチャレンジする時間も確保していきたいです。

今後DXにチャレンジする企業へのメッセージ

DXは業務の効率化だけでなく、企業の成長にもつながると思います。また、小さな改善を積み重ねることで、確実に変化を実感できます。DXを通じて、より働きやすい環境を整えていくことが重要だと思いますので、最初は小さなことから始めても、やがて大きな変革につながると信じて一歩踏み出していきたいと思います。